

# 聖路加国際病院 形成外科



## 専門研修プログラム

2006年4月1日版

### 形成外科プログラム

#### ・GIO

形成外科の医療全体の中での位置を理解し、体表面の損傷、病変のプライマリーケアが行える技能とともに、医療人としての臨床力、態度を身につける。

#### ・SBO

1. 患者、家族と良好なコミュニケーションがとれる。
2. 患者を全人的に理解できる。
3. 患者の心理的、社会的背景が理解できる。
4. 患者の主観的な訴えを客観的な問題に置き換えることができる。
5. 専門医への適切なコンサルテーションができる。
6. チーム医療を理解し、チームアプローチに参加できる。
7. 基本的治療法を実施できる。
8. 基本的治療法が計画できる。
9. 基本的手技を適切に実施できる。
10. 優先すべき検査、治療の判断ができる。
11. 患者、家族との医療面接ができる。
12. 適切な問診が取れる。

#### ・LS1 OJT

- 病棟では、自分が主体となって診療し、ジュニアレジデントと共に、必要に応じて指導医の指導を受ける。
- 外来では指導医の指導の下で、診療する。
- 夜間救急疾患は直接担当し、指導医の相談の下で診療する。
- 専門研修医(シニアレジデント)病棟回診は入院患者の診療、診療録記載などをする。
- 週1、2回の形成外来業務にあたる。
- 上記以外にも準緊急手術が火曜日と金曜日の午後に行われる。
- 緊急手術は夜間休日にも行う。
- 外科系病棟当直が月に数回ある。

- 夜間のオンコール、休日(土、日、祝祭日)のオンコールが交代であり、入院患者や救急患者の診療にあたる。
- 週1回の症例カンファレンスでは、主体となって Presentation を行う。

#### <短期他科研修>

- 指導医の承認を得て、希望他科を2ヶ月ローテーションする。

#### <短期麻酔科研修>

- S1で麻酔科を2ヶ月ローテーションする。

### ・LS2 勉強会

#### <院内外の合同カンファレンス >

- 形成外科フォーラム(年2回)
- 参加施設:横浜市大、慶応大、慈恵医大、北里大、昭和大、東海大、聖路加
- 手の外科リハビリ勉強会(2ヶ月に1回)
- 参加施設:慈恵医大、東海大、神奈川リハビリセンター、東京手の外科研究所、聖路加

#### 週間スケジュール

月曜日	8:00	Morning conference(入院患者と手術患者の報告と治療検討)
	8:30	病棟回診
	9:00	入院手術参加
	18:00	病棟業務
火曜日	8:00	Morning conference(入院患者と手術患者の報告と治療検討)
	8:30	病棟回診
	9:00	外来手術参加
	13:30	入院手術参加
	17:00	病棟業務
水曜日	8:00	形成外科週間カンファレンス(教育的症例および入院患者と手術患者の報告と治療検討)
	8:30	病棟回診
	9:00	外来手術参加
	15:00	病棟業務
	18:00	勉強会(Journal club、輪読会)

木曜日	8:00	Morning conference (入院患者と手術患者の報告と治療検討)
	8:30	病棟回診
	9:00	外来手術参加
	13:30	レーザー照射参加
	15:00	病棟業務
金曜日	8:00	Morning conference (入院患者と手術患者の報告と治療検討)
	8:30	病棟回診
	9:00	外来手術参加
	14:00	入院手術参加
	18:00	術前カンファレンス (次週手術症例の画像を用いた検討)
土曜日	9:00	外来手術参加

### ・LS3 学術活動

- 月 1 回の日本形成外科学会東京地方会に参加し、積極的に発表を行う。
- 年 2 回の日本形成外科学会総会に参加し、最低 1 題の発表を行う。
- 4 年間で 2-3 偏の学術論文(原著・症例報告)を執筆する。
- 日本美容外科学会、日本顎顔面外科学会、日本手の外科学会、日本マイクロサージェリー学会などの関連学会に参加する。

### ・EV

- 半年に 1 回程度、指導医、専門研修医(シニアレジデント)の双方向の討論、指導をする。
- 自己評価:日本形成外科学会認定専門医の申請資格要項に準じて、経験症例、手術件数を記録し、到達度を自己評価する
- 指導医による評価:半年に一度、部長面接を受け、上司からの評価、目標設定、進路相談などを行う。